

## 2025年度 公立大学法人大阪第12回役員会議事要旨

日時：2025年3月11日（水）9時30分～11時00分

場所：UR森之宮ビル3階 役員会議室

構成員：福島理事長、櫻木副理事長、酒井理事、丸尾理事、高橋理事、徳永理事、重松理事、  
中村理事、宮部理事(オンライン)、帯野理事(欠席)、藤本理事、藤沢理事(オンライン)

監事：白井監事、前田監事

陪席者：露口本部事務機構長、大久保本部事務機構次長、石井本部事務機構次長、富宅阿倍野キャンパス事務局長、柴山企画総括部長、石田総務部長、森岡企画部長、肥田人事戦略部長、吉岡財務部長、船野学長室長、寺田阿倍野キャンパス事務局事務部長

### 【審議事項】

#### 1 2026（令和8）年度予算（案）について

丸尾理事および吉岡財務部長より、2026（令和8）年度予算（案）について説明があり、3月26日開催の経営審議会での承認を経たうえで改めて書面開催の第13回役員会にて審議を行うこととした。

<主な意見等>

- ・OMU戦略予算の継続事業が多いが、これまでの成果は評価されているのか。次年度も実施後の評価に応じて継続の可否や予算の増減基準を明確化してほしい。  
→効果の精査は事務局で実施している。中期計画KPIとの整合で最終数値を精査し、決算時に評価・結果を報告する。
- ・高専の移転は複数年度にまたがるが、トータルでどの程度の費用を見込んでいるのか。これは大阪府市から別途措置されるのか。  
→大部分が大阪府から措置され、80億円弱程度の予算になっている。一部大学負担も存在するが、建屋の改修や引っ越し費用等の主たる事業については全て大阪府からの施設整備補助金から支出する。

#### 2 大阪市立大学経済学研究科及び看護学研究科並びに大阪府立大学理学系研究科の廃止について

高橋理事より、大阪市立大学経済学研究科及び看護学研究科並びに大阪府立大学理学系研究科の廃止について説明があり、3月18日開催の教育研究審議会での承認を経たうえで改めて書面開催の第13回役員会にて審議を行うこととした。

### 【報告事項】

#### 1 公立大学法人大阪が出資する事業会社の設立に向けた検討状況について

重松理事および中井産学官民共創推進室長より、公立大学法人大阪が出資する事業会社の設立に向けた検討状況について報告があった。

<主な意見等>

- ・事業会社の立上げ期は、大学との連携や大学執行部によるガバナンス確保を重視した体制とすべきではないか。また、事業が軌道に乗った段階では、社長を含む経営人材は民間から登用する選択肢を持ってはどうか。

→立上げ期は学内事情に通じた体制で運営しつつ、事業の進捗に応じて必要な体制整備を検討する。

- ・現行の利益相反管理やガバナンス体制については、より実効性のある仕組みに見直す必要があるのではないか。

→関係規程及び運用体制の整備を進め、適切な管理に努める。

- ・成果指標については、単なる事業量の指標に留まらず、J-PEAKSの趣旨を踏まえたアウトカム創出への貢献を重視すべきではないか。また、会社収入の大学への還元方法についても、大学側が実感できる仕組みを検討してはどうか。

→J-PEAKSの趣旨等も踏まえつつ、事業内容、成果指標及び還元の在り方を整理する。

- ・大学資源の活用にあたっては、大学と会社の役割分担を明確にした上で、学内周知を図ってはどうか。

→学内関係部局への周知を図りつつ、適切な運用方法を検討する。

## 2 入試志願者状況（速報）

高橋理事および丸尾理事より、入試志願者状況(速報)について報告があった。

### 【備考】

オンライン会議システムを併用した役員会は、適時的確な意見表明が互いにできる状態であることを確認しており、終始異状なく議題の審議等を終了した。

以 上